

JIS Q 9001 (ISO 9001)

品質マネジメントシステム

品質マネジメントシステムの必要性

事業を取り巻く状況は近年急速に変化しており、少子高齢化による労働人口の減少、ベテラン社員退職による技術継承、後継者への事業引継、仕事に対する価値観の変化や働き方改革、検査データ等の改ざんによる不祥事、意識改革や検査プロセスの改善などの課題が顕在化しています。

顧客の要求する品質や法的規制を満たした製品・サービスを一貫して提供し続け、顧客満足や信頼を得ることは、会社（組織）が存続・発展していくためには大切なことであり大きな課題です。

品質マネジメントシステムは、このような課題に取り組むための首尾一貫したシステムで基本的な考え方や手順、ルールが示されています。この枠組みの中にそれぞれの組織の業務プロセスを当てはめて統合することにより、最適なマネジメントシステムを構築することができます。業種や事業形態、規模を問わず、あらゆる組織に適用可能であり、パフォーマンス全体の改善と持続的な発展のためのベストプラクティスとなります。

期待される効果

ISO 9001を導入することで次のような効果が期待されます。

- 組織の目標を達成する活動を仕組み（プロセス）として確立し、効率的に業務を行うことができます。
- 個人の力量に頼ることなく、組織として統一された仕事の仕組みが明確になり、個人のミス（ヒューマンエラー）を少なくすることができます。
- 社員の共通理解の向上及び責任権限を明確にした業務の達成感により、社員満足度の向上が期待できます。
- より正確にリスクの分析ができ、組織のとるべき方向が明確になります。すなわち安定した良い製品・サービスの提供につながり、結果として顧客満足度の向上が期待できます。
- 組織独自の文化を一層強化し、社員の人材育成に寄与します。